

# 就職活動と希望進路

## －就活時期とキャリア満足度－

大東文化大学 社会学部 社会学科

21191049

本田太陽

昨今では、就職活動が早期化してきている。では、早い段階で就職活動に取り組むことが、学生にとって本当にメリットとなり得るのだろうか。また、メリットとなり得る場合には、具体的にどのようなものであると言えるのであろうか。本研究では、こうした就職活動の早期化が、本当に学生に対し利益をもたらしているのかということ課題とし、アンケートの結果から調査・考察した。

調査にあたり、9つの質問を設けた上で、それぞれ具体的な回答の選択肢とその方法、質問の意図や仮説を設定した。調査期間は、2024年7月29日から9月14日とし、調査対象は、大学1～4年の学生13人とした。調査方法は、Googleフォームにて調査票を作成し、SNSを通して調査票を配布するという方法をとった。質問内容は、就職活動の際の情報源や開始時期などとし、大学生の就職活動について広範に質問した。

調査の結果から、就職活動は早期化しているが、就職活動を行った学生は、その結果にはある程度満足しているという事が分かった。また、就職活動の結果に対し大変満足しているという回答は少なかった事から、ある程度の不満はあると考えられ、その要因としては、早期化により選考に対する準備や対策が不十分であった事などが考えられた。